

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## アコム株式会社（証券コード:8572）

### 【変更】

長期発行体格付	A+	→	AA-
格付の見通し	ポジティブ	→	安定的
債券格付	A+	→	AA-
発行登録債予備格付	A+	→	AA-
国内CP格付	J-1	→	J-1+

### ■格付事由

- アコムは、消費者金融大手であり、三菱UFJフィナンシャル・グループ（MUFG）の連結子会社。ローン・クレジットカード事業、信用保証事業、海外金融事業を手掛ける。主力の国内個人向け無担保ローンを中心に業容が順調に拡大しており、市場地位・競争力が一段と高まってきた。加えて、営業資産残高の成長や利息返還金の負担減少により、当面も収益力および資本充実度の改善が続くとみられることから、格付を1ノッチ引き上げた。
- 国内の個人向け無担保ローンや信用保証における市場地位・競争力は非常に高い。タイの個人向け無担保ローンでもノンバンク最大手の地位にある。国内の個人向け無担保ローンでは、コロナ禍からの資金需要回復を追い風に24/3期の新規顧客数が貸金業法改正以来で最高水準まで急増し、残高が大きく伸びた。また、利便性や秘匿性の高いWEB経由の申込が浸透し、顧客層が広がっており、今後も一定の残高成長が期待できよう。事業領域の拡大に向け、エンベデッド・ファイナンス事業、事業会社との保証提携、新たな国への進出に取り組んでいることも中長期的に市場地位・競争力にプラスに働くとみている。
- 収益力は良好である。24/3期は、営業資産残高の拡大により営業収益は増収となった。一方、新規顧客にかかる広告宣伝費や貸倒関連費用などの先行的な費用が増え、経常利益は減益となったが、高い利益水準を保っている。今後、コロナ収束後の新規顧客数の急増が落ち着いていくことで、先行的な費用も徐々に減少していくほか、営業資産残高の成長や利息返還金の負担減少により、中期的には利益水準が高まっていくとJCRはみている。
- 資産の質の健全性は維持されている。新規顧客数の急増に伴い、営業資産全体に占める取引歴が浅い顧客の割合が高まっている。取引歴が浅い顧客は延滞が生じやすいため、不良債権比率は過年度でみて高い水準にある。しかし、不良債権の内訳をみると、債務整理などを行った上で入金が継続されている貸出条件緩和債権が中心であり、貸倒償却率の急激な悪化には至っていない。物価上昇などの外部環境の変化の影響には留意していく。
- 資本充実度は良好である。内部留保の蓄積により資本の厚みが増しており、JCR調整後の自己資本比率も改善が進んでいる。リスク対比でみた資本の余裕度も十分に確保されている。営業資産残高の拡大を踏まえても、堅実な財務運営方針の下、良好な資本充実度が維持されよう。流動性に特段の懸念はない。メインバンクの三菱UFJ銀行を中心に多様な金融機関と安定的な取引関係にある。社債などの調達手段の多様化も進んでいる。ALMは保守的であり、金利上昇に対して一定の耐性を備えている。
- MUFGによる支配・関与度およびMUFGにおける経営的重要度を踏まえ、MUFGのグループ信用力「AA」相当の2ノッチ下がアコムの長期発行体格付のフローアになると評価している。支配・関与度に関しては、一定の経営の独立性を有する一方、MUFGは議決権を約40%保有し、複数名の取締役を派遣しているほか、

経営管理における一体性が高い。経営的重要度については、アコムは MUFG において個人向け無担保ローンや信用保証を担い、戦略的・機能的に重要な位置付けにある。

(担当) 坂井 英和・浅田 健太

## ■格付対象

発行体：アコム株式会社

### 【変更】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AA-	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第 69 回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）	200 億円	2014 年 9 月 26 日	2024 年 9 月 26 日	1.21%	AA-
第 78 回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）	100 億円	2019 年 8 月 30 日	2026 年 8 月 28 日	0.380%	AA-
第 79 回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）	200 億円	2020 年 2 月 28 日	2025 年 2 月 28 日	0.290%	AA-
第 80 回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）	100 億円	2021 年 2 月 26 日	2026 年 2 月 26 日	0.280%	AA-
第 81 回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）	100 億円	2021 年 9 月 3 日	2026 年 9 月 3 日	0.170%	AA-
第 82 回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）	100 億円	2023 年 7 月 6 日	2026 年 7 月 6 日	0.340%	AA-
第 83 回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）	100 億円	2023 年 7 月 6 日	2028 年 7 月 6 日	0.530%	AA-
第 84 回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）	250 億円	2023 年 12 月 19 日	2026 年 12 月 18 日	0.550%	AA-

対象	発行予定額	発行予定期間	予備格付
発行登録債	1,500 億円	2023 年 7 月 10 日から 2 年間	AA-

対象	発行限度額	格付
コマーシャルペーパー	1,200 億円	J-1+

## 格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2024年5月28日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：宮尾 知浩  
主任格付アナリスト：坂井 英和
3. 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2024年2月1日)、「消費者金融」(2022年6月21日)、「金融グループの持株会社および傘下会社の格付方法」(2022年9月1日)として掲載している。
5. 格付関係者：  
(発行体・債務者等) アコム株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
  - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
  - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：  
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

## ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

予備格付：予備格付とは、格付対象の重要な発行条件が確定していない段階で予備的な評価として付与する格付です。発行条件が確定した場合には当該条件を確認し改めて格付を付与しますが、発行条件の内容等によっては、当該格付の水準は予備格付の水準と異なることがあります。

## ■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO(Nationally Recognized Statistical Rating Organization)の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

## ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル